

かしはらし シルバー人材センター かわらばん

NO.114 2024年 5-6月号

3月末会員数: 481名

(女性: 177名・男性: 304名)

会員平均年齢: 75.2歳

発行責任者 岡本 恵美

編集者 武智 里絵

(公社) 榎原市シルバー人材センター 〒634-0075 榎原市小房町11番1号(かしはら万葉ホール東側)

TEL0744-26-2560 FAX0744-26-2561

1. 令和5年度 第2回理事会が開催されました

＜3月25日(月)午前10時から奈良県社会福祉総合センター5階研修室Aにおいて＞

理事会に付された議案などは、①令和5年度第1次補正収支予算書 ②不納欠損処分
③令和6年度事業計画 ④令和6年度収支予算書 ⑤正会員入会承認 ⑥嘱託職員等
の就業に関する規則の全部改正 ⑦嘱託職員の就業に関する規則の施行に伴う関係規
程の整備に関する規程の制定 ⑧表彰規程の制定 ⑨令和6年度役員賠償責任保険及
び個人情報漏えい保険 ⑩理事長に対する権限委任の議案の他報告案件が審議され議
決承認されました。



令和5年度第1次補正収支予算書では、決算前の収支を調整し、受取材料費及び派遣手数料などの増加、受取会費の減少など補正を行い経常収益が277,846千円、事業費用では支払材料費、人件費、租税公課、消耗品費などを精査した結果、経常費用を274,713千円とし、正味財産期末残高が25,693千円となる補正予算が承認されました。

令和6年度事業計画及び収支予算書は、シルバー人材センターを取り巻く環境は、労働力不足が懸念されるなか、企業に対し70歳までの雇用が努力義務とされ、会員の高齢化により一層拍車をかけ、コロナ禍からの脱却にむけ社会経済が発展に動き出しています。



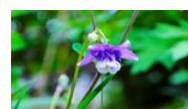
このような社会の変革に対応しセンターの継続的安定的事業運営には、会員の拡大、就業の拡大に取り組むと共に、高齢者のインターネット利用率の上昇に合わせ、デジタル化によるセンター業務の効率化に取り組む必要があります。

また、高齢者の就業、企業・家庭等の現状を踏まえた様々なニーズに応え、地域の活性化に寄与するため、理念である「自主・自立・共働・共助」の実施を運営に活かすことを基本に、事業計画の大きな柱は、①組織活動事業(業務のデジタル化推進)

②会員拡大の推進(入会説明会での映像の活用と並行してホームページでも入会促進) ③就業機会の拡大 ④シルバー派遣事業 ⑤福祉・家事援助、子育て支援 ⑥安全・適正就業対策事業(安全就業ニュースの会員共有化・飛び石対策としてのカルマー刈払機導入) ⑦普及啓発活動の推進が掲げられています。目的達成のため、会員と役職員が一体となった運営をお願いいたします。

予算規模としては、配分金収入が180,680千円、受取材料費30,000千円、受取事務費22,968千円、派遣事業等受取収益3,580千円、介護予防総合事業収益4,992千円、受取補助金等34,609千円を計上し、前年度当初予算より8,309千円増額し、**総額で278,409千円**となり、費用は、支払配分金185,000千円、支払材料費22,000千円、その他プロパー職員の給与費用等を含み経常費用を**277,409千円**計上し、**当期経常益が1,000千円**となり、**正味財産期末残高は26,693千円**となる予算が承認されました。その他の議案等につきましても慎重審議され承認されました。

理事会の最後に4月1日付人事異動に伴い、日裏康夫常務理事、間瀬彰久事務局長から退任の挨拶があり、6月開催予定の総会で理事の補充選挙を行うことが確認されました。



2. 令和6年度 第1回定例事務連絡会

令和6年4月10日(水)午前9時30分から中央公民館3F講堂で開催しました。

各職群から77名の会員出席がありました。冒頭、枅谷 進副理事長より、

- ① 新年度を迎え引き続き安全就業と市民から信頼される作業に心がけられたい。
- ② 事務連絡会もコロナ禍で開催を縮小してきたが、5類移行によりできる限り多くの会員さんの出席で開催したい。
- ③ 4月の人事異動で新事務局体制になったが、事務局と会員が相互協力し運営に努められたいとの挨拶がありました。



次に、4月1日付け人事異動職員で新たに榎原市役所から辻本昌弘参与、池畑嘉晃統括調整員が着任された紹介と、岡本恵美局長補佐が、事務局長に昇格したことが紹介されました。



岡本恵美局長から

- ① 安全就業の徹底
- ② 各分会での研修会の充実
- ③ デジタル化に向けた会員講習会の開催
- ④ 運営に対し会員の支援を要請されました。



事務連絡事項としては、

- ① 令和6年度事業計画(理事会報告記事参照)
- ② 令和6年春の全国交通安全運動(4/6~4/15)
- ③ 4月~6月安全就業標語「慣れからくる油断と過信が事故のもと」

安全就業事項としては、平井コンサルタント及び安全就業対策委員会、梅崎孝司委員長から令和5年度事故件数や安全パトロール報告及び安全就業の取り組みについて提起がありました。



3. 令和6年度安全セミナーを開催

開催日: 令和6年4月10日(水)

事務連絡会終了後、マーシュ総研株式会社 中尾久和さんを講師にむかえ

「事故防止は気づくこと・気付かせること」をテーマに安全セミナーを開催しました。

セミナーでは

- ① 自転車の事故に気をつけよう
- ② シルバー人材センターでの事故(業務災害・賠償事故)の実態
- ③ 転倒・転落事故を減らそう
- ④ マナーを守ろう! のほか、個人情報の漏洩防止、ハラスメントについて保険会社の立場から解説され、事故を防ぐ心得3カ条として

- ① 「能力と体力の衰えを自覚する」
- ② 自身の作業を定期チェック
- ③ 「時間・手間より安全優先」他のみんなの為にも、安全対策を怠らない! と提起されました。



2024. 4~6月期安全就業標語

【 慣れからくる油断と過信が事故のもと 】



<令和5年度定時総会のお知らせ>

開催日時：令和6年6月27日(木) 午前10時

開催場所：万葉ホール・ロマンピアホール

◎総会の案内・議案は総会開催日までに会員みなさんに送付しますが、総会当日欠席される会員さんは、表決書又は委任状の何れかの書面を総会前日の午前中までに事務局に提出してください。

<委任状>

* 総会を欠席する会員が、総会で提案される議決事項の議決権限を、他の会員か総会議長に委ねるときに提出する書面です。

<表決書>

* 総会を欠席する会員が、総会で提案される議決事項の議決権限を、自らの意思で賛成か反対かの意思表示をして提出する書面です。

<事務局人事異動>



令和6年4月1日付で辻本 昌弘(つじもと まさひろ)魅力創造部地域振興課付副部長が着任されました。辻本参与は着任にあたり、「今までは主に税務や子育て福祉系にいました。皆様もご存じのように高齢化が進み、労働力人口が減少する中、榎原市においても、特に子育てや地域福祉において労働力が不足していることを実感いたしました。会員の皆様の知識と経験を生かしたお力をお貸しいただけるようお願いします。会員の親睦、交流、健康に留意し、社会参加を促進し、元気で楽しい就業となり、地域社会に根付いたセンターとなるよう皆様とともに頑張っていきたい」と抱負を語られています。



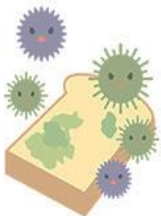
令和6年4月1日付で池畑 嘉晃(いけはた よしあき)魅力創造部地域振興課付統括調整員が着任されました。池畑統括調整員は着任にあたり、「シルバー人材センターの活動は、高齢者が生きがいを持って社会活動に参加する施策に大きく貢献しています。そのなかで、会員の皆様に安全かつやりがいを持って業務に励んでいただけるよう努めていきたい」と抱負を語られています。

清掃作業就業会員のみなさまへ

令和6年4月24日実施しました清掃作業就業会員研修会兼交流会の資料を配布しておりますので、研修欠席の方は事務所に取りに来て下さい。次回のご参加お待ちしております。



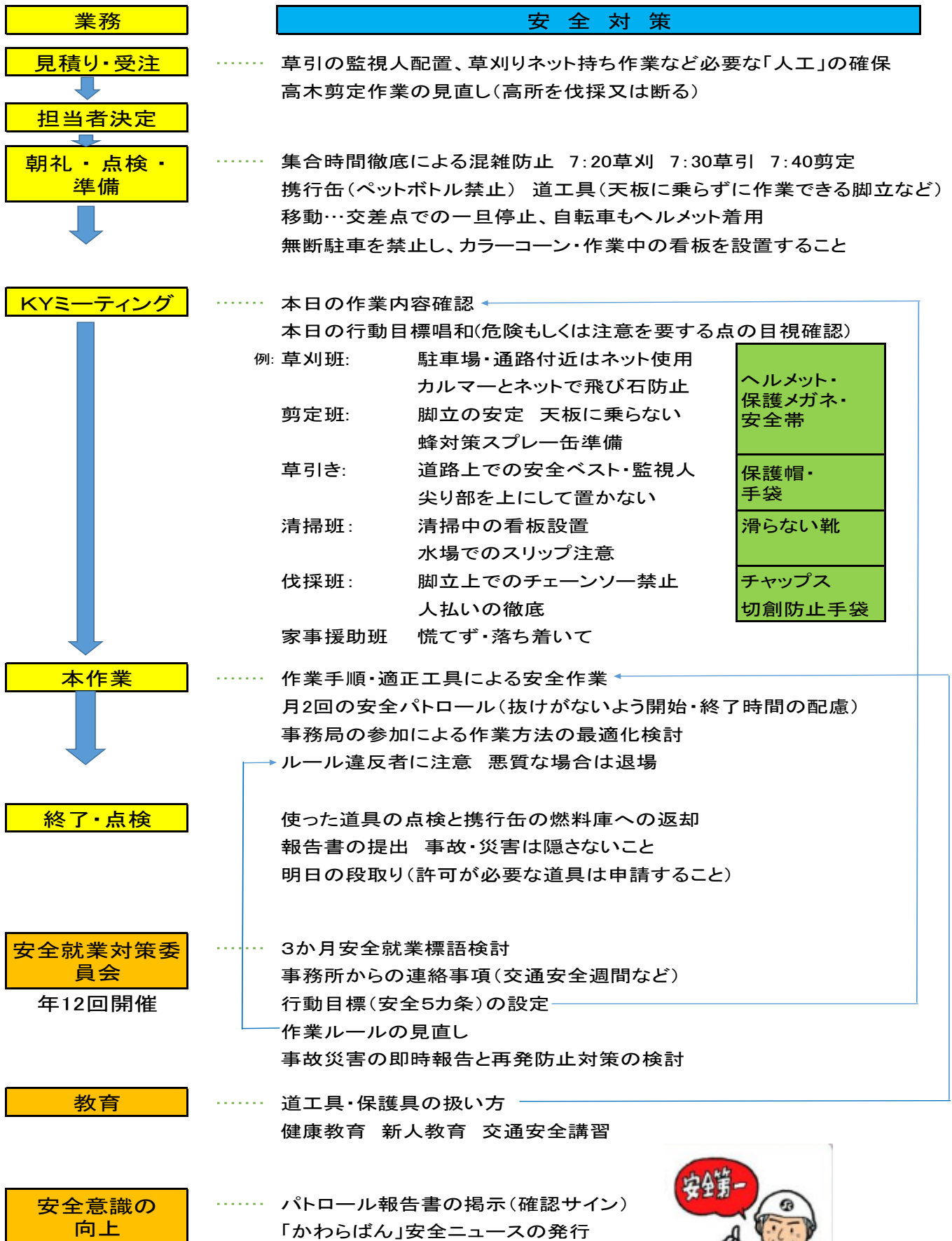
食中毒にご用心



これからは気温が高くなっていく季節。気温とともに湿度が高くなると、細菌が増えやすい環境になるため食中毒に注意が必要です。家族みんなですっかり予防して、健康で楽しい夏を過ごしましょう♪



《 令和6年度 シルバー人材センター安全対策 》



- ヘルメット・
保護メガネ・
安全帯
- 保護帽・
手袋
- 滑らない靴
- チャップス
切創防止手袋



